

河川・緑地の軸

千歳市は、国立公園である支笏湖を水源とする清流千歳川をはじめとして、大小の河川がまちなかに水辺空間を形成しているのと同時に、河川沿いの緑地がみどりの景観軸をつくりだしています。

特に、市街地を流れる千歳川とママチ川については、千歳市のシンボルとして、広く市民に親しまれる憩いと交流の場としての活用促進が望まれますが、現在の千歳川をはじめとする市街地の一部の河川では、護岸整備の進行とともに親水性を失いつつあります。

千歳川の、千歳神社からの上流域とサーモンパークからの下流域には、自然のままの河岸風景が展開しています。

また、市街地の外縁部には直線的な防風林が、みどりの景観軸を形成しています。

河川・緑地の現況写真



(千歳川蘭越浄水場付近)

河川・緑地軸景観の現況写真

千歳川上流域



千歳川中流域



千歳川遊歩道



千歳川下流域



ママチ川



勇舞川



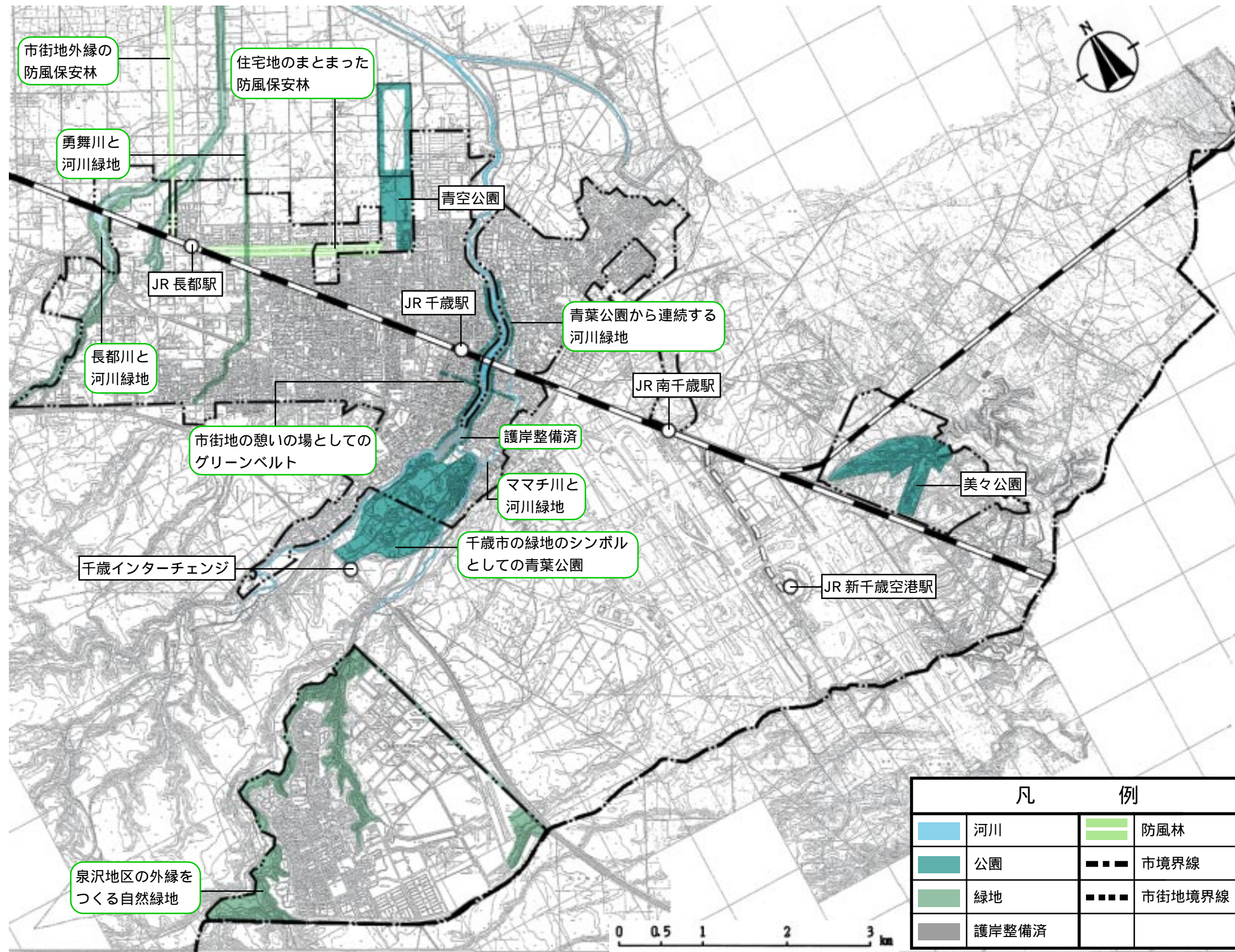
防風林



グリーンベルト



河川・緑地軸の現況特性図



拠点景観の現況

公園・広場

千歳市には、青葉公園・青空公園・美々公園に代表される大型の都市公園のほかにも、大小さまざまな公園が、市街地に点在しています。

特に青葉公園と青空公園は、千歳市民全体のみどりのシンボル空間として、スポーツ・レクリエーション・文化の活動拠点と位置づけられています。

また、市街地の中央には市民の憩いと活動の広場として、グリーンベルトが整備されています。

建築物・構造物

千歳市の拠点とされる建築物・構造物としては、千歳市民だけではなく、多くの人々が集まる場所として、JR千歳駅・新千歳空港・サーモンパーク・千歳科学技術大学・各種公共施設等があげられます。

拠点としての建築物・構造物については、建物本体についてではなく、本体を含む周辺環境のあり方が景観形成に重要な役割を担うことから、拠点における広場や緑地、駐車場等の整備内容・整備手法についての検討が必要となります。

拠点の現況写真



(青葉公園全景)

主要な拠点の景観の現況写真

新千歳空港



千歳科学技術大学



グリーンベルト



グリーンベルト



J R 千歳駅西口広場



J R 千歳駅東口



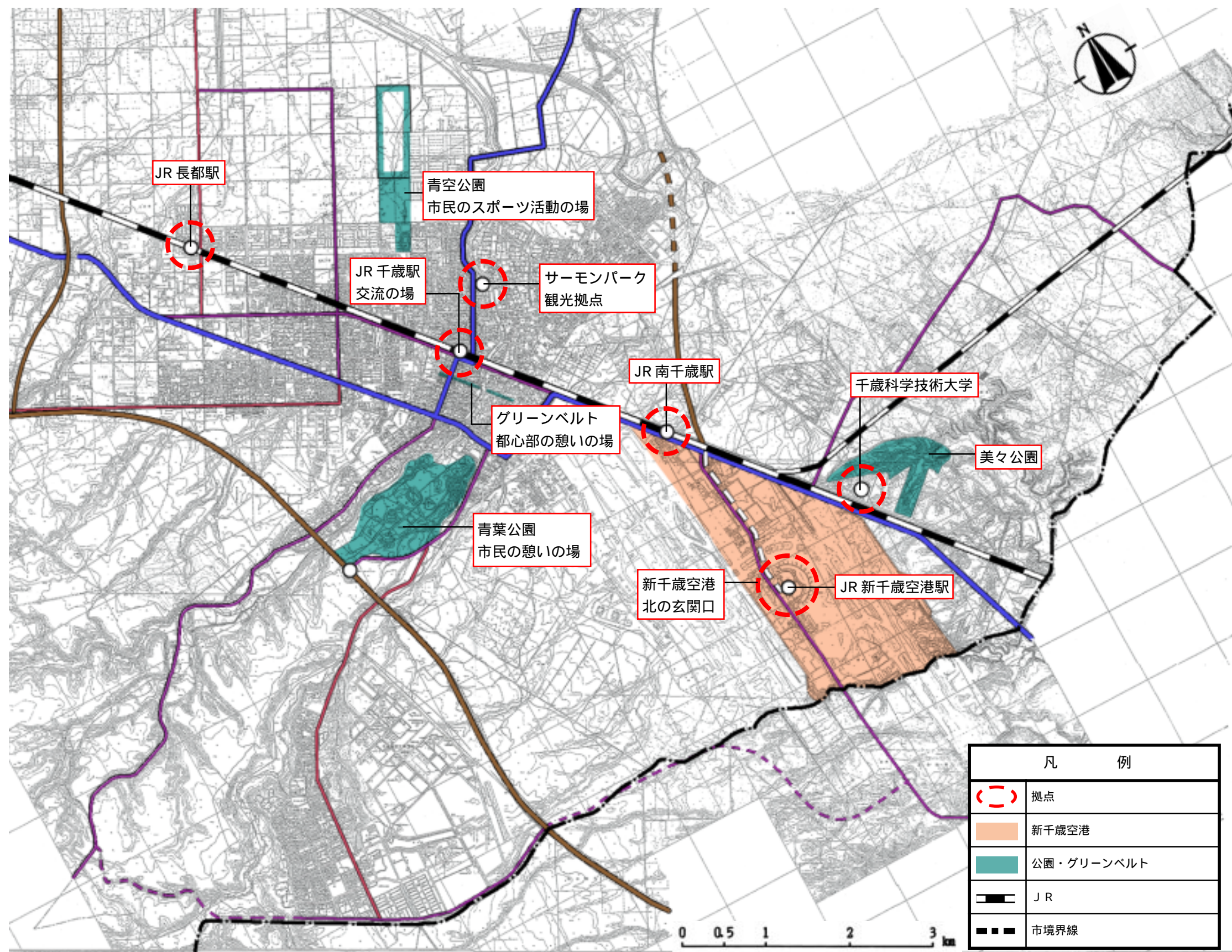
サーモンパーク周辺



サーモンパーク駐車場内



主要な拠点の現況特性図



面的景観の現況

商業地

現在、千歳市には「仲の橋通り商店街」「新橋通り商店街」「ニューサンロード商店街」「錦町商店街」「新川通商店街」「北新商店街」「末広商店街」の7つの商店街振興組合と「駅前通振興会」があります。これらで形成される商業地の中で、特に中心といわれるのは、南北が錦町商店街からJR千歳線まで、東西は千歳川から駅前通振興会を含む区域としています。（千歳市中心市街地活性化基本計画 重点地区より）

主要な商店街における商店数の推移は、平成6年から平成9年までで11.3%の減少となっており、そのなかでもニューサンロード商店街の15.8%が最も大きい数字を示しています。

商業地の大型店舗数は、第1種2店舗、第2種13店舗であり、道道早来千歳線や国道36号、駅大通沿いに展開する、沿道型の大型小売店舗となっています。

中心市街地地区の商店街は、日常の買い回り品の販売を行う小規模店舗が集積していますが、歩行空間の狭さや店舗前の公的空間の狭さなどから、雑然とした雰囲気をつくりだしています。また、常にシャッターが降りている店舗や、点在する空き店舗が商店街の賑わい感を低下させています。

住宅地

千歳市の住宅地は、既存市街地に比較的古くから存在する高密住宅地と、市街地の外縁部に計画的に整備された新興の住宅地に分けられます。

千歳市都市計画マスタープランにおける住宅・住環境の方針としては、中心市街地地区の住宅地を「都市型住宅ゾーン」、その周辺および幹線道路沿いの住宅地を「都心周辺住宅地」と定め、中高層住宅を主体として機能性と利便性の向上を図り、郊外型の新しい住宅地はゆとりある一戸建ての低層住宅による環境整備をめざし、土地区画整理事業による宅地開発・分譲が進んでいます。

また、泉沢地区の特別分譲地は、臨森林型の住宅地としてみどり豊かで良好な住環境を形成しています。

工業地

千歳市の工業地は、長都駅周辺の生産系工業地、泉沢および美々地域の多機能複合型工業地、弥生・寿周辺の物流・住居調和型工業地に分かれています。

特に、長都駅周辺と泉沢地域の工業地は、広い敷地の周囲に緩衝緑地帯を整備し、工場内の緑地とあわせて、良好な環境を形成しています。

面的景観の現況写真

長都駅周辺の宅地造成地



清流地区の分譲地



泉沢向陽台住宅地



泉沢向陽台特別分譲地



千歳臨空工業団地



長都駅周辺工業地



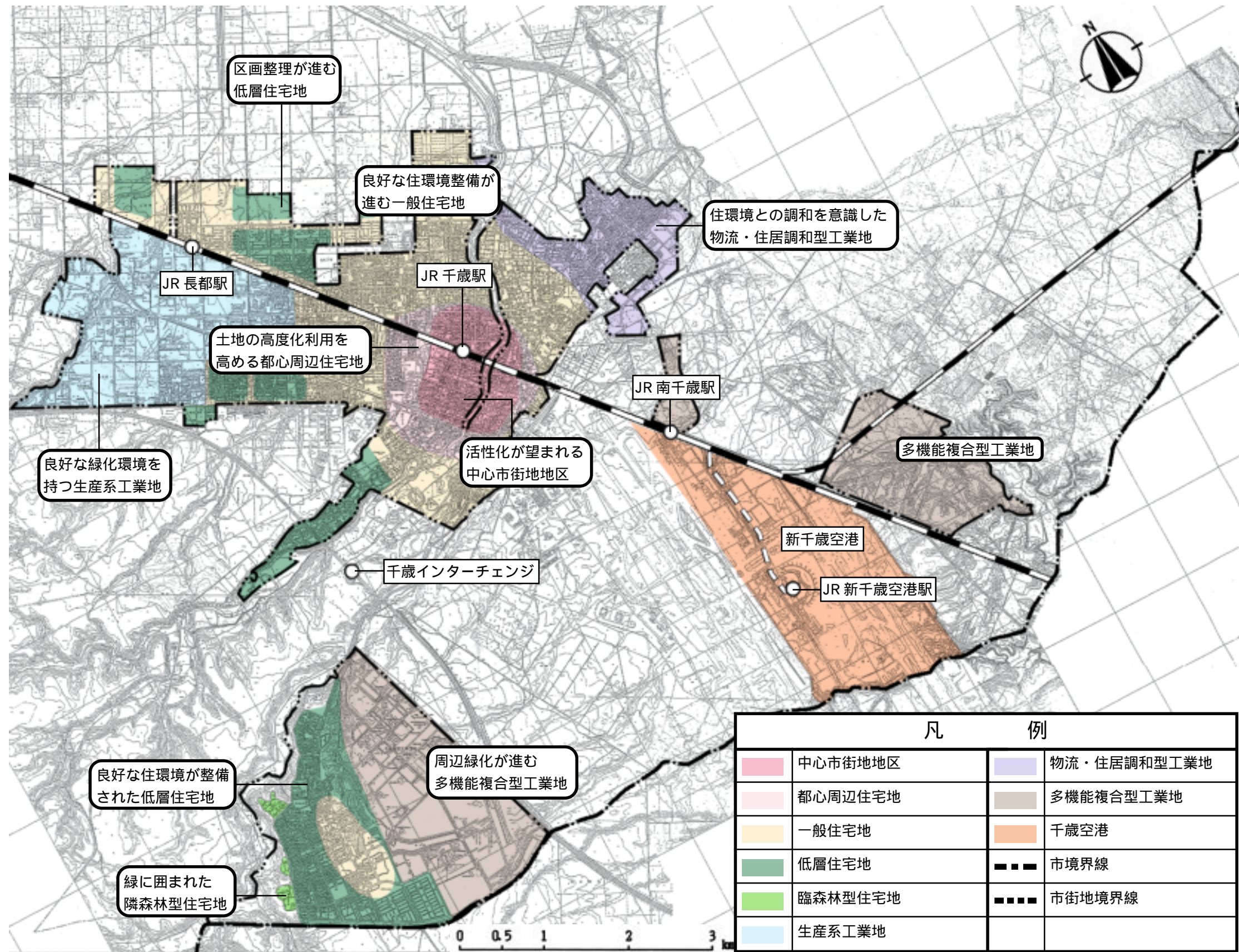
駅大通（駅西側）



仲の橋通



面的景観の現況特性図



3. 現況調査によるまとめ

1) 現況調査から見た景観特性と課題

軸的景観について

(道路の軸)

市道全般においては、豊富な街路樹や、真町泉沢大通などに代表される、既存のみどりを生かした道路整備によって、みどり豊かで潤いのある沿道景観が形成されています。

しかし、一部の主要幹線道路では、景観整備や歩行者に対するアメニティの不足、来訪者に千歳をアピールする演出などが不足しています。

したがって、来訪者や歩行者を意識した沿道景観の整備が今後の課題としてあげられます。

(河川・緑地の軸)

千歳市街地を流れる千歳川の上流域や下流域には、良好な自然河川のすがたが随所に見られ、良好な市街地景観を形成しています。しかし、市街地の中流域では治水を優先したコンクリート護岸によって、親水性の失われた区間が多く続き、潤いが感じられない水辺空間をつくりだしています。

また、この区間のまちなみは、河川両岸に道路整備がされていないことなどから、建物が河川に背を向けるように建てられています。

千歳川は千歳市を代表する景観特性要素であることから、今後は千歳川を生かしたまちなみづくりが課題といえます。

緑地の軸は、青葉公園、グリーンベルト、街路樹、防風保安林、河畔の樹林など多くのみどりが整備され、良好な都市環境を形成しています。しかし、「河畔散策路が整備されていない」「保安林の中が暗く危険で遊べない」など、緑地が十分に活用されておらず、市民に対して、みどりが身近に感じられない印象を与えています。

したがって、緑地の活用策や連続性のある整備が今後の課題としてあげられます。

拠点景観について

千歳市には、公園や広場の拠点として、青葉公園、青空公園、美々公園など良好な環境を持つ、大型の都市公園が整備されており、市民の日常的なレクリエーションや運動の場として良好な都市環境を形成しています。しかし、一方で公園に至る道筋がわかりづらく、利用者や来訪者に使いづらい印象を与えています。

今後は、公園内の整備だけでなく、的確なサインの配置や誘導路の景観整備などを心がけ、利用しやすい拠点づくりをめざす必要があります。

施設の拠点としては、新千歳空港、JR千歳駅、サーモンパークとサケのふるさと館、千歳科学技術大学などが代表としてあげられます。

JR千歳駅周辺は交通拠点として多くの利用客が訪れ、千歳市の顔ともいべき性格を持っています。しかし、周辺土地利用があまり進んでおらず、修景整備も不足していることから、来訪者に対し、閑散としたまちであるという印象を与えています。千歳駅周辺には、駅前広場にふさわしい演出が今後の課題としてあげられます。

また、観光客の利用が多い新千歳空港周辺やサーモンパークでは、樽前山の眺望やインディアン水車周辺の親水性に富んだ水辺など、良好な都市景観が形成されています。

千歳科学技術大学もまた、北海道ならではの広大な敷地に恵まれ、豊かな自然環境につつまれた良好な景観を形成しています。

しかし、一方で大型の屋外広告物や違反広告物が目につき、良好な自然景観の眺望を阻害しています。空港周辺の周辺環境と調和した屋外広告物のあり方が今後の景観形成の課題となっています。

面的景観について

市街地の外縁部では、区画整理事業などによる計画的な宅地開発が進み、広い敷地、広幅員の街路、宅地内の緑化などによって、良好な住環境を形成しています。

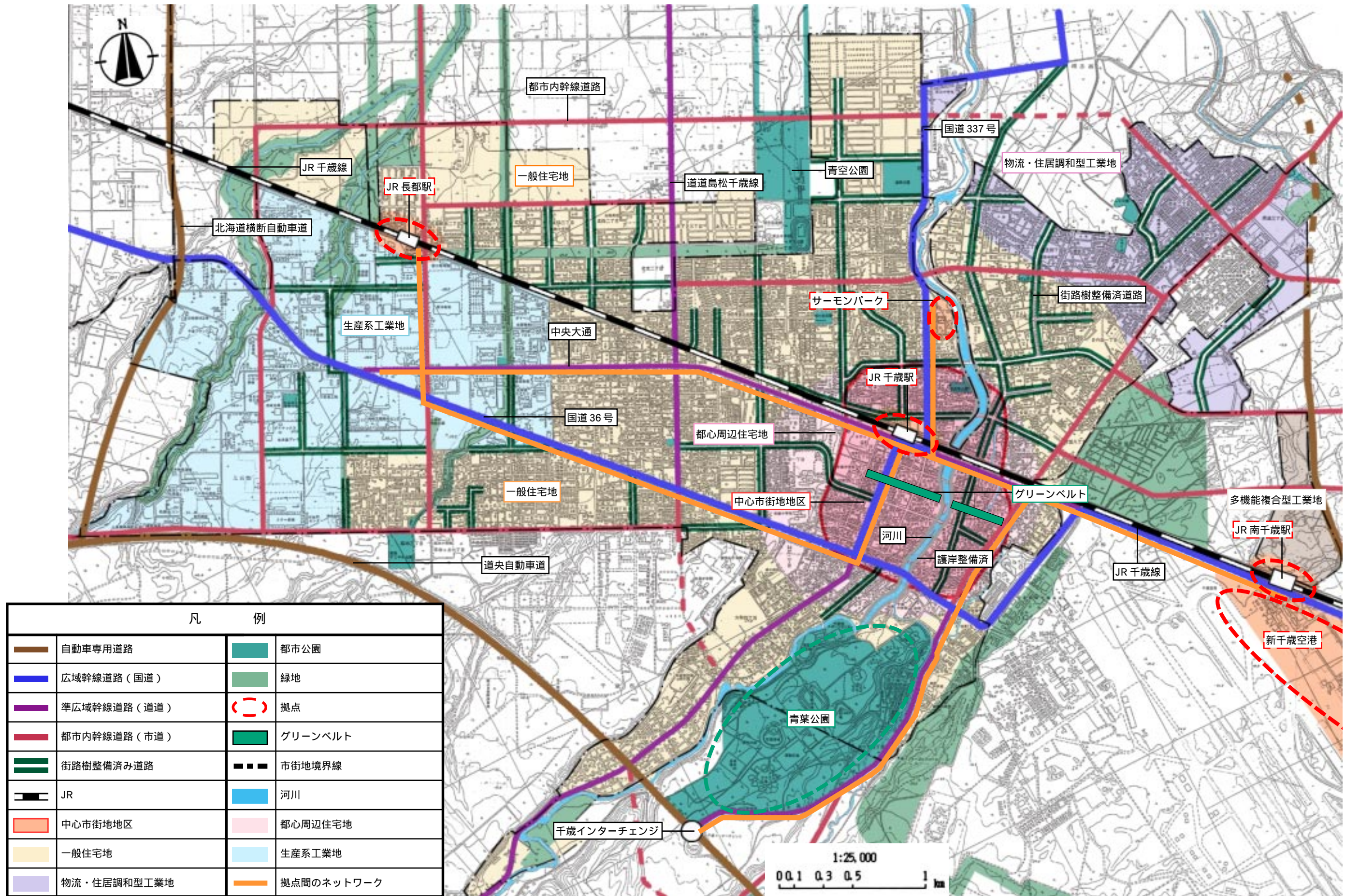
また、千歳市の工業地は、地区計画の運用や事業者の協力によって、緩衝緑地帯の整備や敷地内の緑化が進み、良好な工業地を形成しています。

しかし一方で、中心市街地地区の住宅地や商業地では、老朽化した住宅や店舗が多く、狭い歩行空間とあわせ、ゆとりを感じられない都市環境を形成しています。













また、商店街では空き店舗の増加が進み、昼間でもシャッターを閉じた店舗が多く、かきわい性が薄れ、交流人口の低下をまねいています。

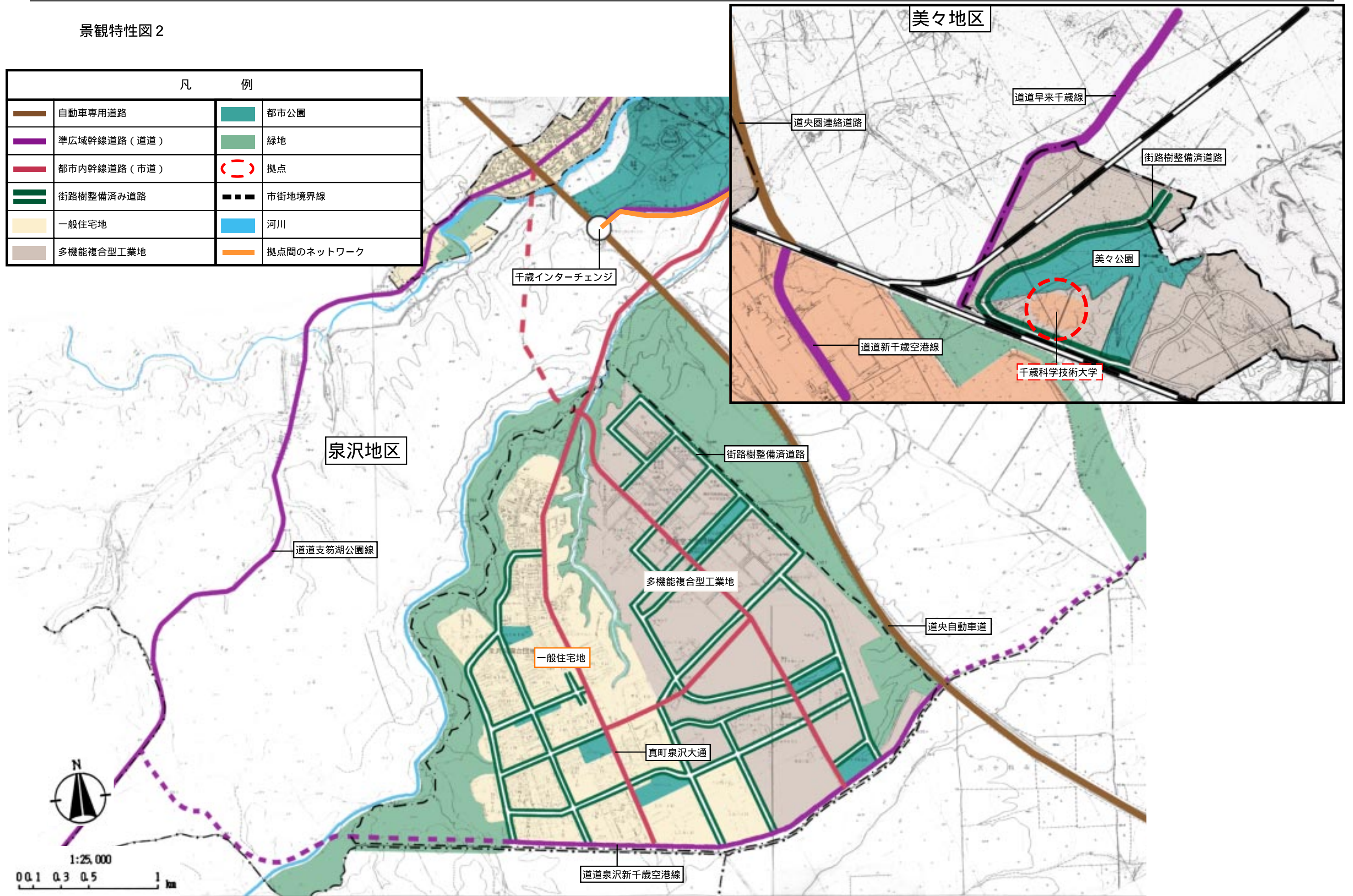
面的景観では、中心市街地地区におけるかきわい性の向上が大きな課題としてあげられます。

2) 景観特性図1 (景観特性図とは道路軸、河川・緑地軸、拠点、面的景観の現況をすべて重ねあわせたものです。)



景観特性図2

凡 例			
	自動車専用道路		都市公園
	準広域幹線道路（道道）		緑地
	都市内幹線道路（市道）		拠点
	街路樹整備済み道路		市街地境界線
	一般住宅地		河川
	多機能複合型工業地		拠点間のネットワーク



1:25,000

